

# 日本Rubyの会 のほうから 来ました

Came from Nihon Ruby-no-kai

**角谷 信太郎**

日本Rubyの会, Asakusa.rb  
(株)永和システムマネジメント  
s-kakutani@esm.co.jp

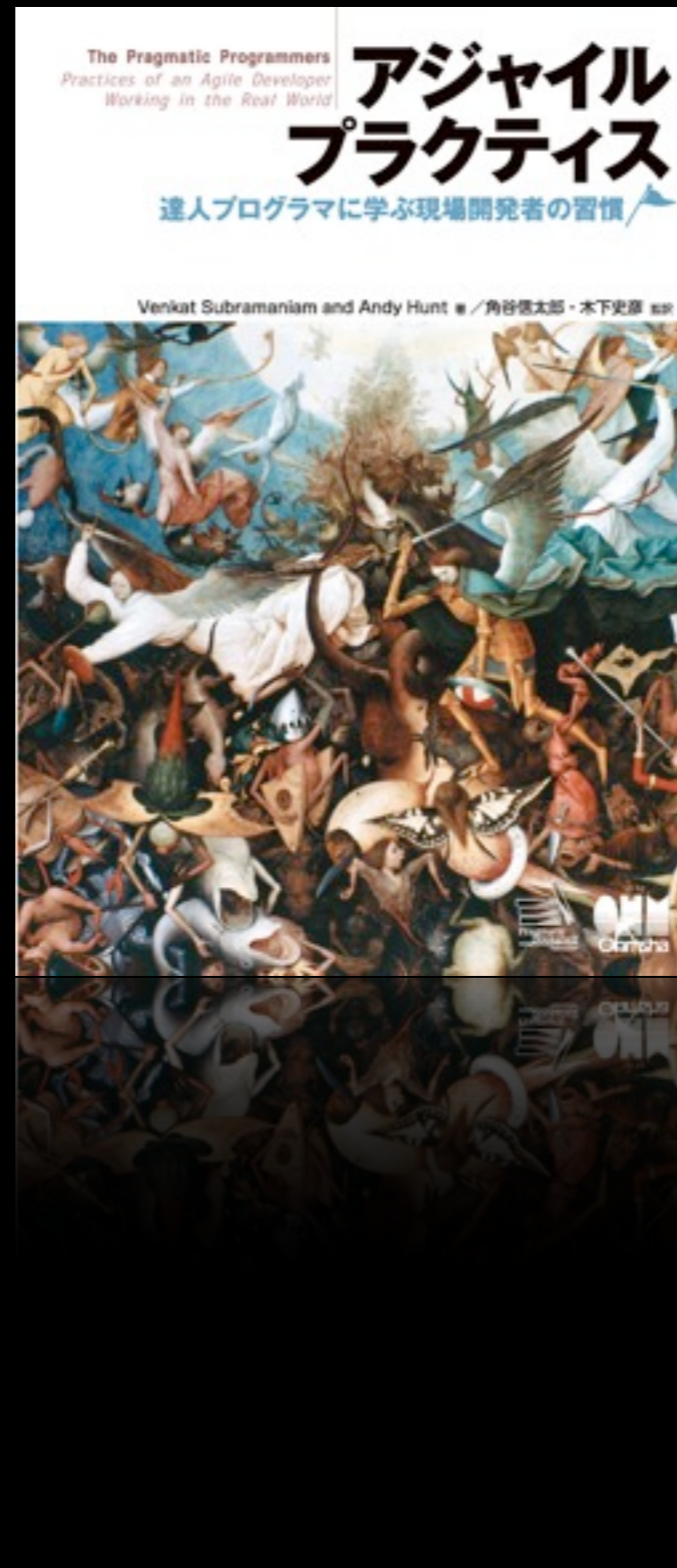
**KAKUTANI Shintaro**; Eiwa System Management, Inc.; Nihon Ruby-no-kai  
仙台Ruby会議01 Lightning Talk; 2009-01-24(Sat)

角谷信太郎

kakutani.com

KAKUTANI Shintaro

# pragprog.com



# アジャイルな 見積りと計画づくり

価値あるソフトウェアを育てる概念と技法

MIKE COHN [著]

安井 力、角谷 信太郎 [監訳]

AGILE  
ESTIMATING AND  
PLANNING

# 提 供

情報化技術を通じて社会と共生する



株式会社 **永和システムマネジメント**

よるしく

お願いします

# 今日のまとめ

- ✓ 日本Rubyの会には色々なプロジェクトがあるよ
- ✓ 人手は足りてないから開発以外にも貢献できることあるよ
- ✓ 結局おなじメンツが手を動かしている気がするので助けて

# お品書き

✓ Regional RubyKaigi

✓ RubyKaigi2009

✓ るびま

✓ るりま



# **Regional RubyKaigi** **(地域Ruby会議)**

<http://regional.rubykaigi.org/>

# 地域Ruby会議(Regional RubyKaigi)

*“regional” wasn’t going to mean “provincial”—that regional conferences could be top-notch events—and that hope has been fulfilled beyond what we could possibly have wished for.*

— [D.A.Black](#)

地域Ruby会議(Regional RubyKaigi;リーじょなるるびーかいぎ)は、小さな[RubyKaigi](#)をいろんな地域でやっしまおうというプロジェクトです。日本Rubyの会が[後援](#)しています。

## これから開催される地域Ruby会議

最新情報の確認は[RubyKaigi日記](#)が便利です。

2009-01-24(Sat): [仙台Ruby会議01](#)

2008-12-14(Sun): [九州Ruby会議01](#)

## 過去の地域Ruby会議

2008-08-21(Thu): [東京Ruby会議01](#)

2008-10-25(Sat): [札幌Ruby会議01](#)

2008-11-07(Fri)~11-08(Sat): [関西Ruby会議01](#)

*“regional” wasn’t going to mean “provincial”—that regional conferences could be top-notch events—and that hope has been fulfilled beyond what we could possibly have wished for.*

— D.A.Black

「地域」というのは「地方でやってる」ということの意味じゃない——地域カンファレンスは一流のイベントをりうるし、実際のところ私たちが思っていた以上のものになっている。

**Sapporo** →

**Tochigi**

**Matz-e**

← **Sendai**

← **Tokyo**

← **Osaka**

↑ **Fukuoka**



# Upcomings...

✓ **松江Ruby会議01**

✓ 2009.02.02 (Mon)

✓ **とちぎRuby会議01**

✓ 2009.02.21 (Sat)

✓ **東京Ruby会議02**

みなさんとでも  
素敵で頼もしく  
て負けてられな  
いなあと背筋の  
伸びる思いです



### RegionalRubyKaigi

RegionalRubyKaigi(リージョナルるびーカイギ)、または地域Ruby会議は、RubyKaigi とは別に開催される RubyKaigi のようなものです。

RegionalRubyKaigiとはどのようなものかについては、高橋さんの日本Rubyの会MLへの投稿を参照 <URL:<http://www.fdiary.net/ml/ruby/msg/1929>> 。

### 開催するには

(あとでもっと補足する)

- 開催を決定するよりも前に、連絡用メーリングリスト(後述)に加入してください。
- 開催にあたっては、以下の役割を担当する人が必要です: 実行委員長、会計(おかねを扱う場合)、るびまのレポート記事担当(兼務でも構いません。複数人でも可)
- 開催日時、会場、開催規模を教えてください
- 過去のRubyKaigiの余剰金から、講演者の交通費の補助を出せるかもしれません。事前に相談してください。
  - <http://qwik.jp/RegionalRubyKaigi/32.html> (MLに参加しないと読めません)

### RegionalRubyKaigiの命名規約

「RegionalRubyKaigi(地域Ruby会議)」は総称表現です。個別の開催には下記の命名規約にしたがって名前をつけてください。

- 日本語表記は、「開催都市または地域名」 + 「Ruby会議」(例:東京Ruby会議)
- 英語表記は、「RegionName」 + 「RubyKaigi」(例:TokyoRubyKaigi)
- 開催回数は、「%02d」 % count (例:01)。countは1オリジン
- 公式タグは、「RegionName」 + 「RubyKaigi」 + count の lowercase。例: tokyorubykaigi01

### 開催が決定したら

# **RubyKaigi**

<http://rubykaigi.org/>



# 日本Ruby会議2009

✓ 2009.07.17(Fri) - 19(Sun)

✓ 3日間

✓ 学術総合センター

✓ 千代田区

✓ マルチトラック

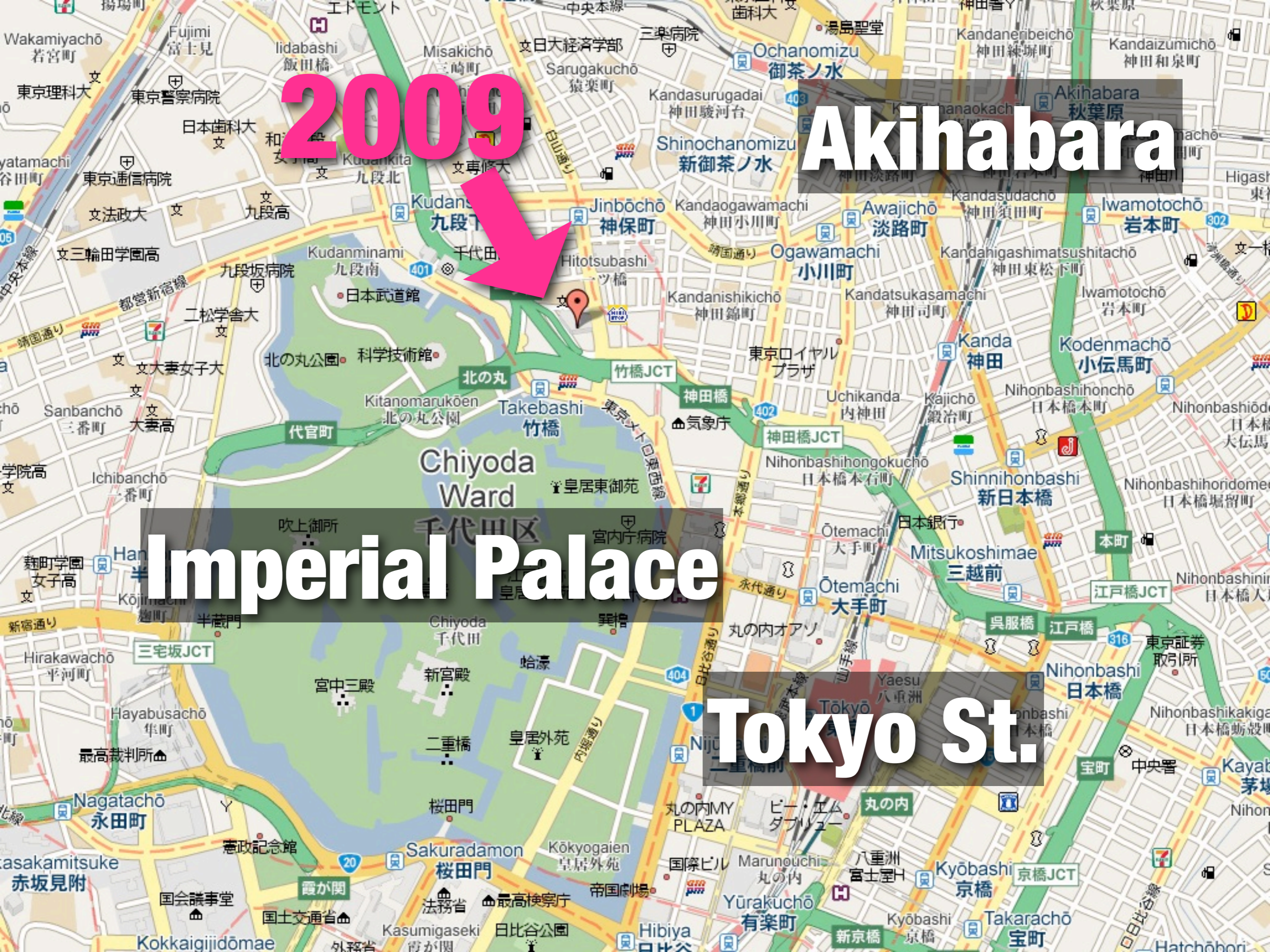
2009



Akihabara

Imperial Palace

Tokyo St.





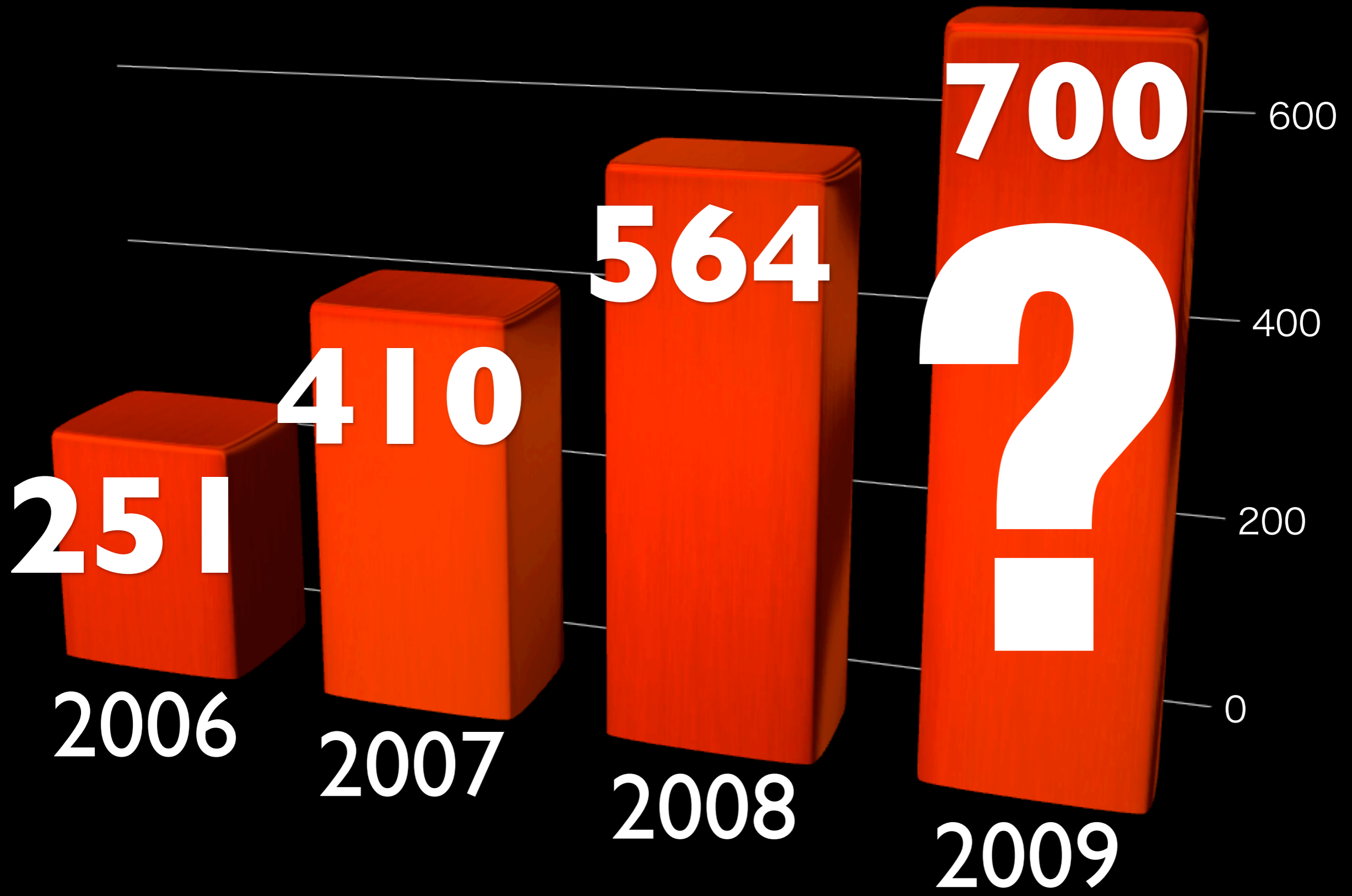
# Keynote Addresses

✓ **Matz**

✓ **Masayoshi Takahashi**

✓ **(TBA)**

# RubyKaigi Attendees



# Our Challenges

✓ **規模の拡大**

✓ **個人からチームへ**

✓ **国際化**

✓ **世界中で宣伝 :-)**

✓ **フロリダ, シドニー, 台湾(予定)**

✓ **いきいきとしたKaigi**

**募集しています!**

✓ **日本語**での**発表者**

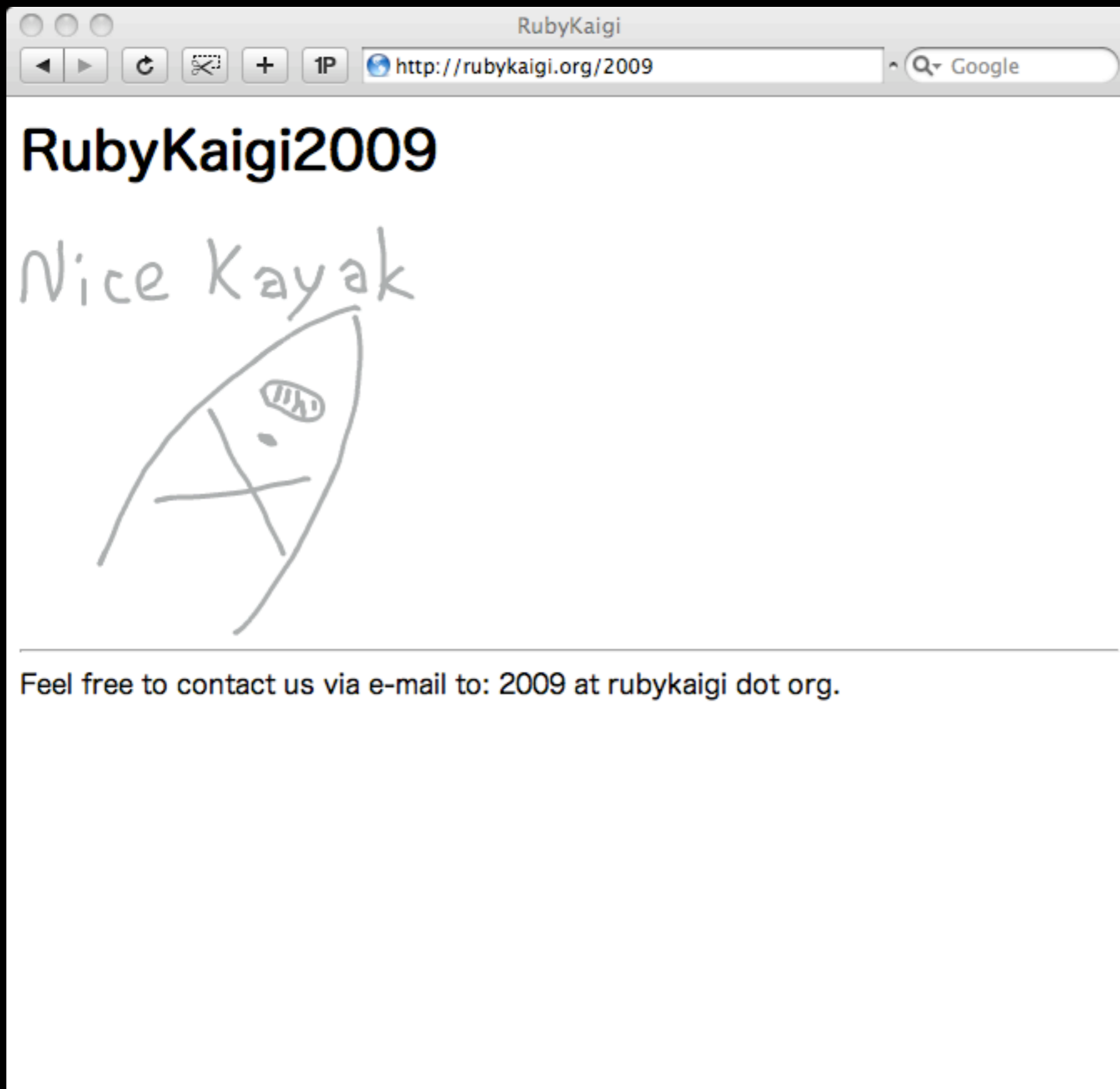
✓ **英語**での**発表者**

✓ **スポンサー**

✓ **参加者**(ハック場所あり☑)

✓ **実行委員**

# http://rubykaigi.org/2009





待て続報

**2009@rubykaigi.org**

るひま

# Rubyist Magazine

<http://jp.rubyist.net/magazine/>

最新**0025**号は

**リリース**に向けて

現在鋭意**作業中**

(1末～2上旬?)

**募集しています!**

✓ 記事の**執筆者**

✓ 書籍化とか!!

✓ 記事の**編集者**

✓ 記事への**フィードバック**

✓ **存在意義**にかかわる

るもま

# Ruby リファ レンスマニユ アル刷新計画

<http://doc.loveruby.net/>



# るりま

✓ 毎月**29**日にスナック  
ショットリリース

✓ bitclust, **chm**

✓ 1.9.1 対応は**4/29**予定

<http://www.ruby-lang.org/ja/man/archive/?C=M;O=D>

<http://doc.okkez.net/> ← おすすめ

# るりまからのお願い

✓ 現行リファレンスは**古い**

✓ 使って**フィードバック**を

✓ **1.8.7**の組込ライブラリは  
**完成**してます

✓ **1.9.1**はあつたり**なかつたり**

✓ 標準ライブラリは**まだまだ**

# るりまからのお願い(続)

✓ドキュメントのレビュー

✓数は多いが作業は単純

✓補助ツールが欲しい

✓バグ報告歓迎

✓(もちろん)執筆者も

會館

籌備

**Windows**で

しか使えない

**ライブラリ**の

**執筆担当者**

# 今日のまとめ

- ✓ 日本Rubyの会には色々なプロジェクトがあるよ
- ✓ 人手は足りてないから開発以外にも貢献できることあるよ
- ✓ 結局おなじメンツが手を動かしている気がするので助けて

# 紹介したプロジェクト

✓ Regional RubyKaigi

✓ RubyKaigi2009

✓ るびま

✓ るりま

“**空気**”の存在は  
都市伝説。**読む**の  
は**ドキュメント**だ  
けで十分だ。



會館

籌備

感極まってる人



**We Want**

**You!**

taken from Ichin's slide:

<http://www.slideshare.net/115n/why-you-should-come-to-rubykaigi-2009-presentation>

**shintaro@kakutani.com**

ご清聴

ありがとうございます

ございました